



早期の復興を願って～蘇我強風被害における社協の取組み～

被災者への支援

平成27年9月6日(日)午後10時ごろ、中央区蘇我(今井2丁目～3丁目)付近で強風が発生し、住宅など約100棟で被害が確認されました。



▲9月12日(土)がれき・ゴミの撤去作業

本会では災害発生翌日の7日(月)から1週間にわたり被害状況・支援要請の調査を行い、地元災害ボランティア組織及び個人ボランティアのご協力のもと、住宅敷地内に飛来した駐車場屋根や建材等の撤去活動など延べ16件の支援を行いました。



▲9月8日(火)トタン屋根の撤去作業



▲地域関係者役員、被災された住民の方との被災状況、支援要請の確認

地域の連携

災害発生直後から、町内自治会・社協蘇我地区部会・民生委員など地域関係者の連携による高齢者宅等の状況確認が行われ、いただいた被害状況・支援要請の情報により、本会のボランティア活動支援はスムーズに実施できました。

災害はいつ起こるか分かりません。今回の災害でも地域内の日頃の連携・協力の大切さを再認識しました。

活動終了後の9月17日、
駐車場屋根の撤去作業を行った
お宅からお礼のメールを
いただきました。

この度は大変困難な瓦礫の撤去作業をして頂き、深く感謝申し上げます。
皆様の多大なるご支援により、本日より竜巻以前の生活を始められるようになりました。ボランティアセンターの皆様、本当にありがとうございました。m()m
心身共々救われました。

常総市災害ボランティアセンターへの職員派遣

9月10日(木)に発生した台風18号等による大雨により、関東及び東北地方では、大きな被害を受けました。特に茨城県常総市では、鬼怒川の堤防決壊等により6,000軒を超える住宅の被害などがあり、本会から常総市社会福祉協議会へ、職員の派遣を行いました。

9月から11月までに、延25日間、合計13名の職員を派遣し、被災世帯の状況調査やボランティアの受入・送り出しなど、常総市災害ボランティアセンターの運営に携わりました。

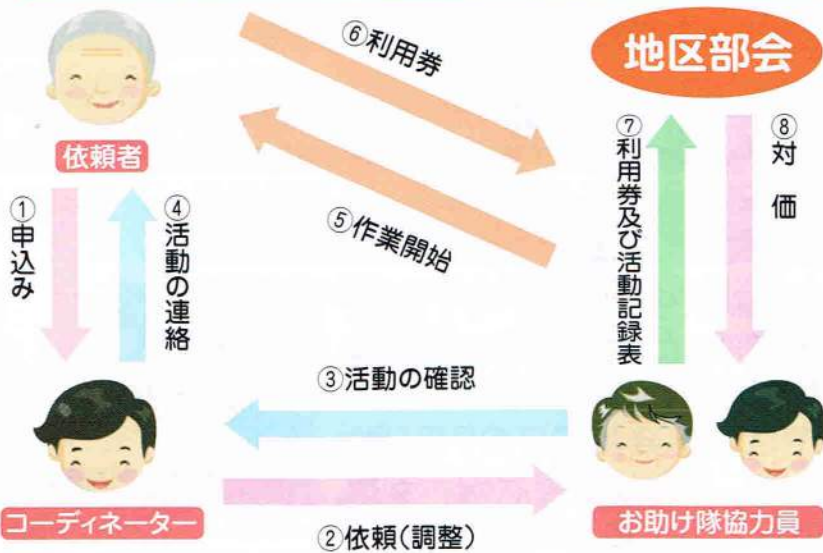
泥出しや清掃等、5,100件以上の支援要請があり、約34,000人のボランティアの方が活動されました。



連日たくさんの方が駆け付けてくれました

みんなで支え合う街づくりをめざして!川戸地区部会お助け隊

依頼から活動終了までの流れ



きっかけ

川戸地区では庭の草刈などにお困りの高齢者も多かったことから「地域の見守り・助け合い事業」に関する住民アンケートを実施したところ、「ひとり暮らしの者には、助け合いは心強い。」などといったご意見が寄せられました。

これによりこの地域では“助けたり、助けられたり”する支え合い活動の必要性を強く認識し、町内自治会と民生委員・児童委員と協議を重ね、今年4月から活動が開始されました。

活動の概要

■対象者となる方

川戸地区(川戸町、仁戸名町、赤井町、平山町の一部)にお住いの高齢者及び障害者など支援が必要な方

■主な支援内容

簡易な草刈・草取り・枝切り、簡易な大工仕事、家具の移動・電球交換等、話し相手

ご利用者の声

川戸町にお住まいのMさん(70代女性・ひとり暮らし)

腰が悪く、しゃがむと痛むため、日常生活でのちょっとしたことに困っていました。この活動ができてからは庭の草取りや生け垣の剪定などをお願いするようになり、大変助かっています。



お助け隊による草木の剪定

東日本大震災の被災者支援を継続しています

東日本大震災発生から4年以上が経過しましたが、現在も約150世帯400名の方が、千葉市内で避難生活を送っています。本会では、協賛団体のご協力により、被災者同士の交流と心のケアを目的に支援活動を行いました。



▲フクダ電子アリーナでサッカー観戦

●稲毛海浜公園プール・三陽メディアフラワーミュージアムへのご招待

●かき小屋へのご招待
(協賛：千葉市みどりの協会)

●ジェフユナイテッド千葉のサッカー観戦へのご招待(協賛：ジェフユナイテッド市原・千葉)



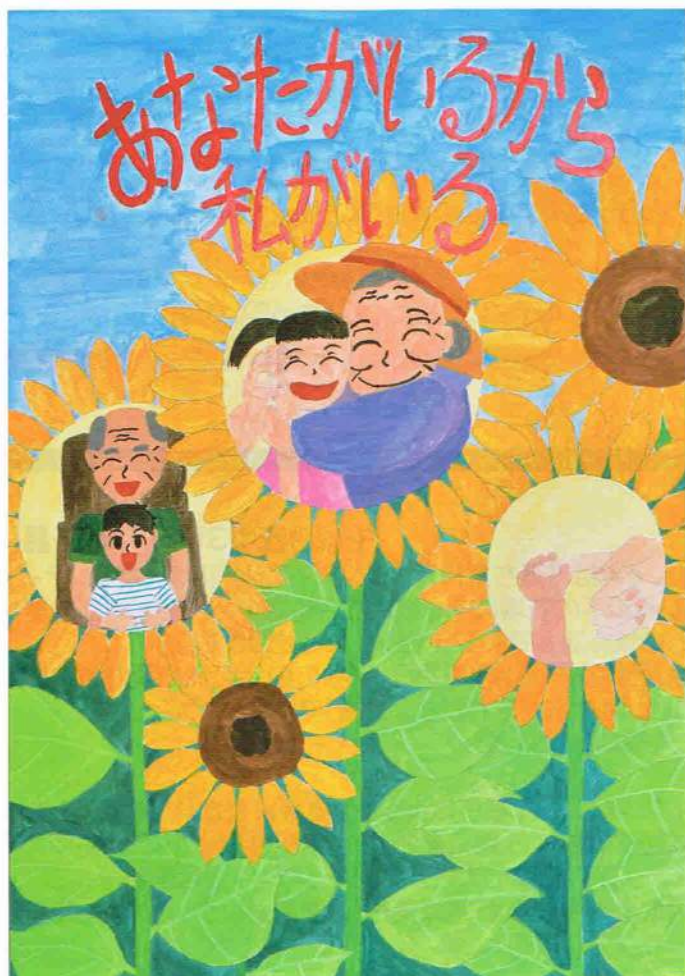
▲炭火で焼いた三陸産力子を堪能

平成27年度 福祉のまちづくり推進 福祉体験 標語・ポスター・作文コンクール

次代を担う市内の小中学生に福祉への関心や理解を深めてもらうため、「福祉のまちづくり」や「ボランティア」をテーマに標語・ポスター・作文を募集し、741点の心温まる作品の応募がありました。千葉市社会福祉協議会長賞の作品をご紹介します。(敬称略)

ポスター部門

小学生の部



花園小6年 谷口 真尋

中学生の部



花園中2年 飯島 帆風

標語部門

小学生の部

あたたかい 気もちといっしょに
さしだす手

千草台小3年 額田 晴一

中学生の部

助け合い みんなの心に 花が咲く

朝日ヶ丘中2年 山川 日穂



受賞された児童・生徒の皆さん



小学生の部

●わたしのおてつだい

蘇我小1年 天辰 友紀

なつやすみになり、わたしはかぞくとでんしゃにのったり、かいものにとったりすることがふえました。えきでは、ベビーカーをおしているおかあさん、くるまいすにのった人、つえをついた人や、からだをかたむけてあるいている人もいました。

でんしゃの中にはゆうせんせきがあり、あかちゃんやようじ、からだのふじゆうな人やおとしよりにすわってもらうせきと、すぐわかるようなえがかいてありました。

ある日、おみせの中でエレベーターにのったとき、くるまいすにのったおねえさんと、くるまいすをおしたおかあさんがのってきました。

わたしはボタンをおし、おとうとが2かいについたとき、「おさきにどうぞ。」

といました。

くるまいすをおしたおかあさんが、「ありがとう。」

といってくれ、とてもきもちがよかったです。

わたしとおとうとが小さかったとき、のりものでせきをかわってもらったり、おみせの入り口のドアをあけてもらったりしたことがあります。

しらない人に、いろいろなことをたすけてもらいました。

わたしは1ねんせいになったので、こまっている人や、おてつだいがいる人のやくにたちたいとおもっています。

中学生の部

●よりよい地域をつくるために

千城台西中3年 川崎 千晶

私は去年、学校で行われた二つのボランティアに参加しました。それは、「落ち葉掃きボランティア」と「花植えボランティア」です。前者は通学路の落ち葉を掃除する活動で、後者はモノレール下の花壇に花を植える活動です。どちらも町が綺麗になるだけではなく、活動中に会う人々と挨拶を交わすことで、地域交流もできるというメリットがあります。

「地域美化」と「地域交流」。このボランティアに参加するまでは、どちらも「地域」に関係するものの、ほとんど関係がないと思っていました。しかし、この二つには共通点がありました。それは、「私たちが忘れがちな意識」であるということです。

普段何気なく通る道の、落ち葉を掃いていると、ふとこんなことを思い出しました。

「そういえば以前、こちら辺にごみが落ちていなかったかな。」

確かに「ポイ捨て禁止」などの決まりは、親や先生から言われていることで、場所によっては看板に書かれていることもあります。私たちがポイ捨てをしないのは、「地域美化」の意識からではなく、「親に言われたから」、「ルールだから」ゆえの行動になるということです。もし「地域美化」という意識があれば、ごみを見つけたときに、ボランティアとは関係なくごみを拾って捨てようという気持ちになるのではないのでしょうか。その点、私も今までは「地域美化」の意識がなかったのだと反省しました。

また、他にもこのようなことを考えました。

「今は挨拶するように言われているからしているけど、普段あまりしていないかもしれない。」

「挨拶は当たり前」と教えられているからするのであって、そこに近所の人たちとコミュニケーションを持とうという、「地域交流」の意識はないように思えます。だから、誰かに背中を押してもらわないと、続かないという状況になるのでしょうか。

最近、「当たり前」のことをできていない人が周りに多くなりました。人のせいにするわけではありませんが、私も「自分だけがするなんて恥ずかしい」と思って、挨拶をしなくなってきました。「地域交流」という意識があるからこそ、自分から挨拶できるのだと思いました。だから、私にも「地域交流」の意識がなかったことになりました。

「地域美化」と「地域交流」。この二つは忘れがちな意識であるとともに、よりよい地域をつくるために大切なことでもあります。だから、「ポイ捨てをしない」「挨拶をする」など、当たり前のことを実践するときこそ、「地域美化」「地域交流」の意識を持つようにしようと思います。

人は一人では生きていけません。東日本大震災の被災地がみごとに復興してきたのは、皆で、自分たちの社会を築いていこうという、人々の心のつながりがあったからだだと思います。そして、そのような意識を持つきっかけとなったものが、「地域でのボランティア」だったのではないのでしょうか。いや、ボランティアをしているという意識も持てないくらい、必死になって地域のために活動してきたのでしょうか。自分たちの行動一つ一つが、地域復興につながるという気持ちをもって。

地域とは、そこに住む人たちが、住みやすいように自らの手で作っていくものだと思います。お金もうけの仕事として築きあげるものではありません。豊かな生活を送るためには、整った環境が必要です。私たちのふるさとであるこの地域で、皆が気持ちよく生活できるよう、私はもっと地域交流の大切さを意識しながら、積極的にボランティア活動に参加していきたいと思っています。

平成27年度千葉市社会福祉協議会 会長表彰

平成27年11月14日(土)に千葉市ハーモニープラザにて平成27年度会長表彰式を開催し、千葉市において永年にわたり社会福祉の増進に貢献された141名の方々を表彰しました。

(敬称略)

～特別表彰～

本会の地域福祉活動のために寄付をされた方 藤川 勇

～会長表彰～

地区部会長・副部会長 地区部会長・副部会長として永年にわたり尽力された方

伊藤正美 島田勝雄

福祉活動推進員 福祉活動推進員として永年にわたり尽力された方

長谷川美智子 吉野文子 高橋澄子 安部吉昭 鶴岡洋子 宮内和夫 鈴木恵子 岡安清 大内悦子
箱守恵子 由井美里 (他3名)

民生委員・児童委員 民生委員・児童委員として永年にわたり尽力された方

桑田武子 森川陽子 勝木佐希子 高橋節子 西原好子 石川邦夫 高橋公夫 生駒泰久 宇田川一郎
宮崎えみ子 高橋伊津子 石井多規子 諸石早苗 香取昭八 香取かつよ 辻本美知子 田中しげ子 (他1名)

身体障害者相談員・知的障害者相談員 身体障害者相談員・知的障害者相談員としてとして永年にわたり尽力された方

渡辺明子 松澤明子 池田かおる 石山祐子 郷野晶子

社会福祉施設・団体機関役員 社会福祉施設・団体機関の役員として永年にわたり尽力された方

杉野美貞 伊藤承子 坂本紀衛 島田貴美代 長谷川悦子 松川智子

社会福祉施設・団体機関職員 社会福祉施設・団体機関の職員として永年にわたり尽力された方

池田滝美 松林千恵子 杉崎珠美 島垣梨乃 野口貴史 團原千春 布施明子 白井敦子 西野尚美
田中淳子 菊地いさ子 芦田直子 立石浩美 小野敬子 城加奈枝 金城照美 小林正継 下山忠則
中元弘樹 神崎恵美子 渡辺庸 増井香苗子 内山泰伸 小川清隆 畠中芽育 清水康晴 早川真志
岩崎秋代 田村知之 鈴木里恵 岡村祐一 神喰諭士 田中哲也 東村千栄子 中島昌吾 渡邊拓也
元吉美享 山形裕 笹原秀樹 大野岳人 藤川めぐみ 齊藤和子 荒井里美 西島千絵美 高橋美香
田中久子 高野真理子 三好誠 須藤真弓 長門豊幸 川上貴弘 佐藤仁俊 石田純 太田春恵
伊藤綾奈 戸坂友也 岡本裕介

保護司 保護司として永年にわたり尽力された方

岩本潤 藤田浩美 関谷政幸 宮腰美佐子 清水正人 小堀和人 佐藤光久 松本俊幸 小川智之
石井啓誉

社会福祉活動従事者 永年にわたり地域福祉活動に尽力された方

山中弥二郎 立石悟 森一郎 佐藤れい子 境八洲子 多賀栄子 (他2名)

本会の地域福祉活動のために寄付をされた方 株式会社ニチレイ 株式会社アルタイル

～会長感謝～

社会福祉事業推進者 永年にわたり社会福祉事業の推進に貢献された方

中尾淑子

協議会活動協力者 地域福祉活動の推進に多大な協力をされた小学校

千葉市立新宿小学校 千葉市立花園小学校 千葉市立稲毛小学校 千葉市立千城台北小学校 千葉市立幕張西小学校

寄付者 本会の地域福祉活動のために寄付をされた方(団体)

高館洋子 高津みどり

社会福祉法人 愛の園福祉会 幕張海浜保育園 株式会社マルハン 千葉北店 株式会社エネルギースーパーたじま美浜店
千葉市舞踊連盟 本門佛立宗 唱題寺 株式会社マルエツ NEXUS株式会社 在日本朝鮮千葉県千葉地域商工会
宗教法人真如苑 千葉精舎 (他1名)

平成28年度子どもルーム職員募集!

急募

業務内容 利用児童の生活・遊びの指導及び安全管理

応募資格 18歳以上65歳未満の方(高校生不可)

- (1)指導員：保育士、幼稚園教諭、小・中・高等学校教諭
(教科不問)、社会福祉士
特別支援学校教諭または児童指導員の有資格者
- (2)補助指導員：資格要件なし



雇用条件

- (1)雇用期間：平成28年4月1日から平成29年3月31日(更新あり)
- (2)賃金等 指導員：月額146,000円(賞与3か月分及び別途諸手当あり。社保完備。)
補助指導員：時給960円(交通費別途)
- (3)勤務日：月曜日～土曜日(祝日・振替休日・年末年始除く)のうち、指導員は週5日勤務、補助指導員は週2～3日勤務。

※随時募集も行っていますので、詳しいことはお気軽にお問い合わせください。

問合せ先

社会福祉課 児童育成係 TEL：043-209-6055(月曜日～金曜日(祝日を除く)9：00～17：00)

ご寄付のお礼

ご支援・ご協力ありがとうございます

順不同・敬称略

平成27年8月～平成27年10月

【社会福祉事業資金】 石橋 正一 柄澤 邦枝 北川 和江 齋藤 スミエ 鈴木 健仁 藤野 貞子 宮下 静江 山口 勝巨 (宗)真如苑 千葉精舎 JFE千葉リバーレーン設置募金箱 株式会社いなげや千葉桜木店 若葉区事務所設置募金箱 全国大陶器市振興組合 千葉工業同窓会 ゴルフ同好会 株式会社アスパートナース キャベツの会 匿名(8件)

【交通遺児基金】 木之本 静枝 株式会社アルタイル 第104地区民児協 第105地区民児協

【ボランティア基金】 五十嵐 治子 藤川 勇

【物品】 安藤 正美



(宗)真如苑 千葉精舎様



株式会社アルタイル様

賛助会員のご紹介

ご支援・ご協力ありがとうございます

順不同・敬称略

平成27年8月～平成27年10月

大木 新一 細貝 義昭 須郷 三悦 高橋 國雄 山澤 都紫子 瓜生 澄江 佐藤 正弘 千秋 正家 榊原 行夫 松島 伸子 清水 精子
ナワタ営繕サービス 百合自治会 石山医院 有限会社 米元商事 唱題寺 貴船山 正善院 城久 (有)石毛自動車工業
山陽開発 301地区民生委員児童委員協議会 高浜中学校区コミュニティづくり懇談会
高洲第二中学校区地区コミュニティづくり懇談会 田吾作煎餅本舗 (株)ミツウロコ千葉支店 千葉店 田代旗幕工業(株)
公益財団法人 千葉市観光協会 京浜管鉄工業株式会社 旭ヶ丘母子ホーム

特別会員へのご加入も多数いただきました。ご支援・ご協力ありがとうございました。

※「ちばし社協だより」は、毎月3万2千部を発行し、各町内自治会での回覧や、公共施設等への配架を通じて、広く市民の方々にご愛読いただいています。

この広報紙は赤い羽根共同募金の配分金により発行しています。

はーとふる千葉

社会福祉 法人 千葉市社会福祉協議会

〒260-0844 千葉市中央区千葉寺町1208-2 (千葉市ハーモニープラザ内)
TEL 043-209-8884 <http://www.chiba-shakyo.com/>